

## 令和6年度 事業計画

### 概要

混沌とする国際情勢、国内は、令和6年1月から地震による災害や事故、物価高や円安、国会の不信等の暗い話題でスタートしました。

ニュータウン自治会に目を向けると、3年間の新型コロナ感染症拡大で自治会活動が制限されたことの後遺症で、企画段階で悩みながらの自治会活動でありました。

そんな中、商業施設としての中心拠点の計画や若い役員の方々の取り組みに明るい期待を感じております。

ニュータウンを取り巻く環境も大きく変化しようとしております。

路線バスの減数、交通量の増加、高齢者の一人暮らし、新住宅への若い方の入居と交流、中心拠点商業施設に伴う影響等による変化に対して「住み良いニュータウン」をどう守って行かなければならないか関心を持って見て行かなければなりません。

武田滝沢市長は、4月から新しい第2次滝沢市総合計画を掲げスタートすることを宣言しております。

この計画は「一方的ではなく、お互いに共感し合いながら、寄り添い、共に生きてゆく」ことを「やさしさ」として、「優しさに包まれた滝沢」の実現に向けた取り組みを市民の皆様と行政が一体となって推進することとしています。

私達も新しい総合計画に基づき、「優しさに包まれた滝沢ニュータウン」をめざし具体的に進めて行かなければなりません。その基本としては、昨年度から掲げ「シビックNEWS」等で掲載をしている「皆さん明るくあいさつし合いましょう。1日を気持ちよくすごすためにも！」等の「挨拶の奨励」です。

「隣同士の挨拶」「公園清掃等での近隣との挨拶」「自治会行事での出会いでの挨拶」を通して「優しさに包まれた滝沢ニュータウン」を作り上げていきたいと考えております。

また、一部で携帯電話によるLINEやメールを使用して会議の連絡等に活用していますが、今後も可能な限り活用して負担の軽減を考えなければなりません。

お互いの顔が見えることで、突然の災害にも助け合える関係を作り上げ、安全安心な地域で住み良い楽しい地域づくりを目指して行きます。

### 1 世代間と近所の隔たり無く、多くの会員が参加できる行事に取り組みます。

各工区の公園清掃は、工区の交流の場として、近隣の方々の顔を知る場としても貴重な機会です。

子供会育成会や地区PTAの協力を積極的に促し、清掃開始時間や役割を工夫して、幅広い年代が参加できる公園清掃を考え、参加しやすい環境づくりに努め参加者の増加を進めます。

滝沢ニュータウン祭りは、多くの年齢層が楽しめるお祭りを開催したいと考えております。

祭りにかける経費や祭りの担当者の負担等を考えながら、楽しめるお祭りを開催したいと考えていきたいと思っております。

各工区での活動は、近隣の交流やつながりを深める機会としては、非常に重要です。このつながりが災害時に安心して助け合う関係づくりに大切です。

各工区で企画される行事や班長会議等を支援するとともに、工区が抱える課題や問題について一緒に解決に努めます。

